

鍵盤音楽の変遷

演奏曲目 (演奏順は前後することがあります)

ベートーヴェン	ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 Op.109
グリーグ	抒情小曲集 第3集 Op.43-5 「愛の歌」
ショパン	エチュード集(練習曲集) Op.25 より 第5番 ホ短調 Op.25-5 第12番 ハ短調 Op.25-12 「大洋」 舟歌 嬰へ長調 Op.60
リスト	巡礼の年 第2年「イタリア」より 「ダンテを読んで - ソナタ風幻想曲」 S.161
フランク	前奏曲、コラールとフーガ ロ短調 M.21
チャイコフスキー	18の小品より 「瞑想曲」 ニ長調 Op.72-5
メトネル	忘れられた調べ 第3集より 「波の踊り」 Op.40-5 忘れられた調べ 第1集より 「祝祭の踊り」 Op.38-3
アルベニス	「イベリア」第3巻より 第7曲「エル・アルバイシン」
ラヴェル	高雅で感傷的なワルツ
アレン	シルビオ・ロドリゲスの主題による変奏曲



坂田 恭子



佐々木 和佳



中川 裕子



浜本 百合



栗原 ひろみ



浅井 佳代



古新 薫

2027年3月6日(土)

マチネ 13:30 開演(13:00 開場)

ソワレ 17:00 開演(16:30 開場)

※ ご予約時に公演時間帯(マチネ/ソワレ)をご指定下さい

JEUGIA三条本店 5F J-Square

〒604-8036 京都市中京区三条新京極角

※ 会場へは4階ピアノサロンから階段でお上がりください

前売 2,500円 当日 3,000円

主催

リレーコンサート 鍵盤音楽の変遷 企画室
(ピアノサロン ミューズの微笑み 内)

お問合せ muse@moments-musicaux-kyoto.com

特設サイト <https://moments-musicaux-kyoto.com/1p/2027-03-06/>

後援

京都音楽家クラブ
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



♪ 鍵盤音楽の歴史的な変遷を辿るリレーコンサート 第四弾

作曲家の出身地や活動の拠点に注目してみるのも一興です

作曲家名	生年	出身地	演奏予定楽曲・奏者		作曲年 推定	作曲地 推定	備考
ベートーヴェン	1770	ボン (ケルン選帝侯領)	ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 Op.109	佐々木	1820	ウィーン	1792年にハイドンに師事するためウィーンへ移住、以後1827年に死去するまでほぼウィーンまたはウィーン郊外で活動。
ショパン	1810	ワルシャワ公国	エチュード集 (練習曲集) Op.25 より	浜本	1835-37	パリ	幼少期～青年期にかけてワルシャワで学んだ後、1830年にウィーンに出るも、長期滞在とはならず、1831年以降主にパリで活動。 1839年～1846年夏はノアンで過ごす。
			舟歌 嬰へ長調 Op.60		1845	パリ	
リスト	1811	ハンガリー王国 (現在オーストリア領)	巡礼の年 第2年 「イタリア」より 「ダンテを読んで」	浅井	1838-49頃	北イタリア (着想時) -ヴァイマル (出版時)	ウィーン・パリ・ジュネーヴ・北イタリア・ヴァイマル・ローマ・ブダペストと欧州各地を転々とし、バイロイトで死去。 ハンガリーにルーツがあると認識しつつも、ハンガリー語は話せなかったようである。
フランク	1822	ネーデルラント連合王国 (現ベルギー王国)	前奏曲、コラールとフーガ	坂田	1884	パリ	ルーツはドイツ系だが、1835年にパリに移住、以後パリで活動。 パリ音楽院に入るために一旦期限付きのフランス国籍を取得。 その後パリ音楽院教授職に就くため再度フランス国籍取得。
チャイコフスキー	1840	ロシア帝国	瞑想曲 Op.72-5	中川	1893	クリン (モスクワ近郊)	1850～1866年はサンクトペテルブルクで学業・就職(法律)・音楽院での生活を送る。 モスクワ音楽院で教鞭をとっていたが、結婚破綻後1877-1885頃はスイス・イタリア・パリ等転々とする。 晩年はモスクワ近郊で過ごしていたが、サンクトペテルブルクで急死。
グリーグ	1843	ベルゲン (ノルウェー王国)	抒情小曲集 第3集 Op.43-5 「愛の歌」	浜本	1886	トロールハウゲン (ベルゲン郊外)	1858年から3年半の間ライブツィヒ音楽院で学ぶ。 1863年から一時期コペンハーゲンに移住するも、その後はクリスチャニア(現オスロ)やベルゲンを拠点とする。 1885年以降は、ベルゲン郊外のトロールハウゲンで活動した。
アルベニス	1860	カタルーニャ	「イベリア」第3巻より 「エル・アルバイシン」	栗原	1906	南フランス	バルセロナ・マドリードで音楽を学んだ後、ライブツィヒ・ブリュッセルで学ぶ。 若い頃はバルセロナやマドリードで活動していたが、1889年頃からロンドン、次いでパリに拠点を移す。 晩年は南フランスで療養。
ラヴェル	1875	フランス領バスク地方	高雅で感傷的なワルツ	栗原	1911	パリ	幼少の頃パリに移住、以後パリを拠点に活動していたが、1921年以降は、パリ近郊のモンフォール＝ラモリーに移る。 療養していたパリで死去。
メトネル	1880	モスクワ	忘れられた調べ 第3集より 「波の踊り」 忘れられた調べ 第1集より 「祝祭の踊り」	中川	1918	モスクワ	モスクワ出身で祖先はドイツ系。 ロシア革命後、1925年頃パリに移住、さらに1936年頃にロンドンに移住し、ロンドンで生涯を終えた。
アレン	1950	ハバナ(キューバ)	シルビオ・ロドリゲスの主題による変奏曲	古新	1999	キューバ	ハバナ出身、幼少期は一時期ニューヨークに住む。 キューバに帰国して音楽を学び、さらに1973年からモスクワのチャイコフスキー音楽院に留学。 留学から帰国後、しばらくはキューバで音楽・教育活動を行っていたが、近年はスペイン在住。

※ 作曲年および作曲地は、あくまでも推定であり、正確でない可能性があります